

起業や社内ベンチャーの企画力を競う

ビジネスプラン・コンペティション「KUBIC ~ 学生の力 ~」を開催

全国の高校生と大学生を対象に独創性や収益性などを備えたビジネスプランを募集

賞金総額100万円相当 大学生の優勝者はベンチャーの本場・アメリカに派遣

募集期間：2005年12月1日(木)～2006年2月28日(火)(必着)

関西大学商学部では、商学部創設100周年記念事業として、全国の高校生と大学生を対象としたビジネスプラン・コンペティション「KUBIC (キュービック: Kansai University Biz Plan Competition)」を開催いたします。

このコンペティションは、高校生や大学生が考える起業や社内ベンチャーのビジネスプランを募集し、学生の力を存分に発揮できる場を創りたいと考え企画されたものです。

「大学の部」と「高校の部」で構成されており、応募部門は、自由な発想で考えた独自のビジネスプラン「自由応募部門」と、協賛企業が提示したテーマについてのビジネスプラン「テーマ部門」の2部門があります。

応募期間は、2006年2月28日(火)まで(必着)となっています。

審査員は、本学や他大学の商学研究者、起業家や行政のベンチャー担当者などとなっています。

また、審査基準は独創性や収益性などの7項目で、審査方式は、応募用紙と応募者フェースシートは別々に管理する『ダブルブラインド方式』を採用。学外からの審査員の招聘、審査基準の公開、公平性の高い審査方式の採用により、真に優れたビジネスプランを表彰します。

賞金の総額は、100万円となっています。また、「大学の部」の優勝者1名には、特典としてベンチャーの本場・アメリカへの渡航費を支援。起業家精神を磨く機会(起業家教育で全米トップテンに入る大学での世界大会出場または研修)が与えられます。

関西大学商学部では、このような催し物を開催することで、新しいビジネスを創造できる次世代の育成や起業家精神を啓発していきたいと考えています。

KUBICの詳細は、次ページの通りで、ウェブサイト(<http://www.kubic-kandai.com/>)でも紹介しています。

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 総合企画室広報課 / 川瀬 北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6337-7078

<http://www.kansai-u.ac.jp>

関西大学ビジネスプラン・コンペティションKUBIC 開催概要

主 催 関西大学商学部
協 賛 江崎グリコ株式会社、小林製薬株式会社、サントリー株式会社、日本ハム株式会社、株式会社マンダム
後 援 経済産業省近畿経済産業局、吹田市、吹田商工会議所、日本マーケティング協会

【応募要領】

応募資格 【大学の部】 全国の大学に在籍する1～3年次の大学生。 2005年12月現在、グループ可。
【高校の部】 全国の高等学校に在籍する1～2年次の高校生。 2005年12月現在、グループ可。
応募部門 【自由応募部門】 自由な発想で考えた独自のビジネスプランを募集します。
【テーマ部門】 協賛企業が提示したテーマについてのビジネスプランを募集します。
(テーマは別項を参照)。
応募方法 所定の応募用紙と応募者フェースシートに必要事項を記入のうえ、下記応募先に郵送または持参してください。応募用紙は下記事務局で配布するほか、ホームページからダウンロードできます。

KUBICホームページ URL: <http://www.kubic-kandai.com/>

応募締切 2006年2月28日(火)(必着)

応募先 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学商学部創設100周年記念事業委員会

【審査】

審査方法 応募用紙と応募者フェースシートは別々に管理する『ダブルブラインド方式』を採用
【予選審査】 応募用紙に基づく書類選考。予選通過者には2006年5月上旬に通知の予定
【予選結果発表】 2006年5月27日(土)関西大学商学部創設100周年記念式典にて
【本選審査】 2006年6月24日(土)関西大学にて公開プレゼンテーション審査会
【審査基準】 独創性、必要性、優位性、収益性、実現性、社会性、訴求性の7項目で評価
審査員 水野 一郎氏 関西大学商学部教授
石井 昭三氏 神戸大学客員教授
太田 肇氏 同志社大学商学部教授
品川 隆幸氏 東大阪ロダン 21 代表幹事・株式会社シナガワ代表取締役
他

【副賞・特典】

100周年を記念し、賞金・副賞総額100万円

【大学の部】 優勝20万円(+アメリカ渡航費1名分)、準優勝10万円、優秀賞2万円

【高校の部】 優勝10万円、準優勝5万円、優秀賞1万円、学校賞

本選会出場者全員に賞金・賞品を授与します。

大学の部の優勝者(1名)をアメリカに派遣します(世界大会出場または研修旅行)。

協賛企業の協力でビジネスプランが実現する可能性があります。

各企業のテーマ部門の最優秀プランには、各企業から特別賞が授与されます。

本選会出場者には、本選会当日の交通費を1グループ上限5万円まで実費支給します。

本選に出場できなかった方も、本選会に来場された場合、抽選で賞品を授与します。

【備 考】

応募者は、応募時点で下記の事項に合意されたものとします。

今回の応募プランは原則として、応募者本人(もしくはグループ)の企画プランであり、かつ他の同種のコンテスト等に応募していないことを条件とします。

自由応募部門の応募プランに関する知的財産権は、原則として応募者に帰属します。知的財産権については、応募者が必要に応じてあらかじめ法的手続きを行うものとします。

テーマ部門の応募プランは協賛企業が事業化する可能性があります。テーマ部門の応募プランに関する知的財産権は、応募者は応募時点で主催者(協賛企業を含む)への譲渡に合意したものとします。事業化に際して、応募者にその都度了解を得ることはありませんのでご了承ください。

応募プランの公表や二次的使用の権利は、主催者である関西大学商学部にあります。応募者は、応募作品につき、著作権人格権を行使しないものとします。

個人情報保護の関係上、応募用紙に記入された内容は、関西大学ビジネスプラン・コンペティションに関連する目的以外で用いることはありません。

応募書類は返却いたしません。また、審査内容についてのお問い合わせには応じかねます。

【KUBICに関するお問合せ】

関西大学商学部創設100周年記念事業委員会 KUBIC 事務局(担当: 商学部助教授・川上智子)

Tel:06-6368-1148(代) E-mail: kubic@cm.kansai-u.ac.jp



KUBICホームページのトップページ URL: <http://www.kubic-kandai.com/>

協賛各企業のテーマ部門のテーマ一覧

- 1 高級チョコレートの新しい販売事業
- 2 大人向けのスナック菓子を製造販売する事業
- 3 菓子類を対象とした通販事業
- 4 コンビニエンスストアの菓子以外の売場で菓子類を販売する事業
- 5 高級アイスクリームの新しい販売事業
- 6 既存アイスクリーム売場を販売場所とした新しい事業
- 7 アイスクリームに取って代わる新しい「デザート菓子」事業
- 8 アイスクリームを媒介として高齢者の健康維持に役立つ事業
- 9 アイスクリームを媒介として人々を楽しませる事業
- 10 男性化粧品における新しいカテゴリー（新習慣 ケア）開発と事業展開
- 11 「こんな店に行きたい」新しいメンズサロン（男性専用美容サロン）の事業展開
- 12 男性化粧品の新しい流通、新しいコミュニケーション（情報発信・収集）媒体の開発と事業展開
- 13 衣・食やスポーツ・音楽とコラボレート（共作）した新男性化粧品ブランドの開発と展開
- 14 団塊世代が使う大人のための新男性化粧品のブランド開発と展開
- 15 団塊世代の女性のための新ヘアケアブランドの開発と事業展開
- 16 メトロセクシャル（都会に住みファッションやスキンケアに熱心で洗練された生活を送る男性）に向けた新男性化粧品ビジネスの展開
- 17 これからの新しいエコロジーコスメ（環境保全部化粧品）事業の展開
- 18 ファッションからメイク、スキン&ヘアケアそして体型等をアドバイスする新ビジネス
- 19 身体の美しさだけでなく精神をも癒す新コスメセラピー（化粧品と心理療法の融合）事業
- 20 芳香消臭剤市場における新商品開発と事業展開
- 21 オーラルケア（デンタルケアや口臭ケア）市場における新商品開発と事業展開
- 22 健康食品の新しい流通と新しいコミュニケーション媒体の開発と事業展開
- 23 高齢者（健康増進や生活習慣病を気にしている人）向け健康食品の効果的なコミュニケーション媒体の開発と事業展開
- 24 20代をターゲットとしたウイスキーの新たな需要創造
- 25 「健康」をコンセプトにしたお酒の新製品開発
- 26 高齢者が楽しめる飲食店の事業展開
- 27 新しいプレミアムビールの製品開発および販売戦略
- 28 ノンアルコールビール（ビールテイスト飲料）の新しい飲み方の提案
- 29 アルコール飲料の景品つき消費者キャンペーンの新しい展開
- 30 高級ハムソーセージの通信販売事業

関西大学商学部について

関西大学商学部は1906年に商都大阪の要請に応じて、大学部および専門部の中に商業学科として設置されたのに始まり、いわば関西では最古の商学部です。1922年、大学令による関西大学が誕生するとともに商学部となり、ついで1924年3月、商学部に経済学科を増設するに至りました。

時代の進展に伴い、同年8月に商学部を経済学部と改称したものの、学部内に商業学科として継承され、1948年新制大学への転換とともに、商学部として再出発しました。

現在、商学部は、流通、ファイナンス、国際ビジネス、経営および会計コースの5部門で構成されています。教授30名、助教授11名、専任講師2名で、経済学の基礎のうえに、新しい専門知識を教授できる陣容となっており、商都大阪に相応しい特徴を持っています。